Panasonic®

取扱説明書

CDステレオシステム

品番 SC-PM02

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(➜ 15 ~ 17 ページ)

付属品を確認してください

- ☐ FM 簡易型アンテナ（1 本）【RSAX0002】
- ☐ AM ループアンテナ（1 本）【N1DYYYY00011】
- ☐ リモコン（1 コ）【N2QAYB000556】
- ☐ 電源コード（1 本）【K2CA2CA00024】
- ☐ リモコン用乾電池（単 3 形、2 本）

- ● カッコ【　】内は、2012 年 4 月現在の品番です。
- ● 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- ● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- ● 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

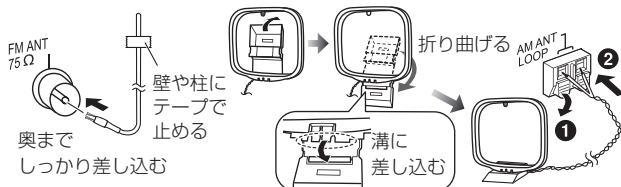
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に **「安全上のご注意」（➜ 15 ~ 17 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
準備
聴く
タイマー
使いこなす
困ったときは？他

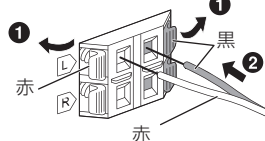
保証書別添付

RQTX1187-1S

本機の接続

FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナを接続する

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➔ 8 ページ）雑音の少ない位置に置きます。

スピーカーコードを接続する

端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。

右側のスピーカーコードも同様に接続します。

誤った接続をすると故障の原因になります。
スピーカーコードをショートさせないでください。
回路が破損するおそれがあります。

家庭用電源コンセント（AC100 V、50/60 Hz）

電源コードを接続する

電源コードは最後に接続します。

■ **電源コードを抜くときは**

① ［電源 ⏻/I］を押して電源を切る
②「GOODBYE」の表示が消えてから電源コードを抜く
本機を移動する時は、CD を取り出してから電源を切ってください。（故障の原因になることがあります。）

本機について

CD ステレオシステム（SC-PM02）

スピーカー（SB-PM02）　センターユニット（SA-PM02）

センターユニットとスピーカーは 1 cm 以上離してください。

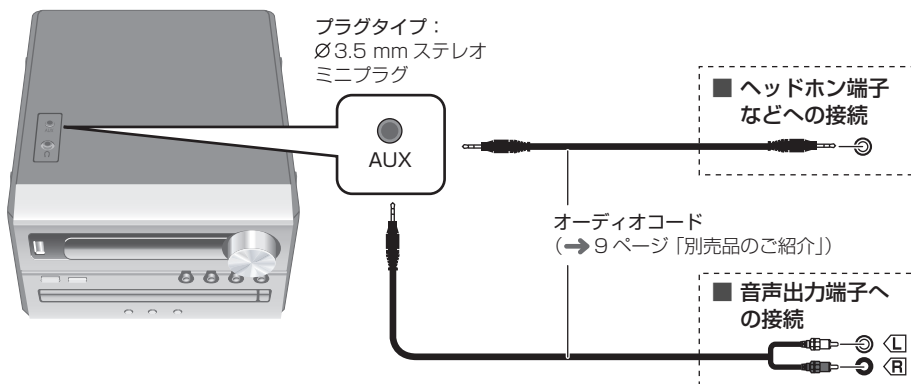
- スピーカーに左右の区別はありません。
- スピーカーネットは取り外しができません。

■ **よりよい音響効果を得るために**

音はスピーカーの置きかたによって変わります。例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また周りの反射をできるだけ少なくする。
  例）左右は壁から離す。堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛ける。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する。
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する。

外部機器を接続する

外部機器の音楽の聴きかたは、 9ページをご覧ください。

CD について

■ 使用できる CD は

●

このマークの付いた CD

● CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW（ファイナライズ※されたもの）

- 記録状態によっては、再生できないことがあります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 使用できない CD は

- ハート型など、特殊形状の CD（故障の原因になります。）

■ 使用を保証していない CD は

- 違法にコピーした CD
- DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）

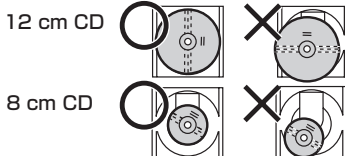
■ 取り扱い上のお願い

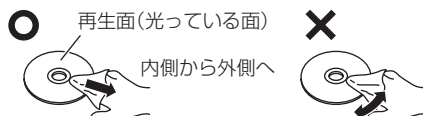
- 鉛筆などで字などを書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない。
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない。

■ CD の入れかた

- ラベル面を上に、CD トレイの中央に正しく置く。

■ CD の持ちかた

再生面(光っている面)には触れない

● 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、
あとはからぶきしてください。

● 露がついたら

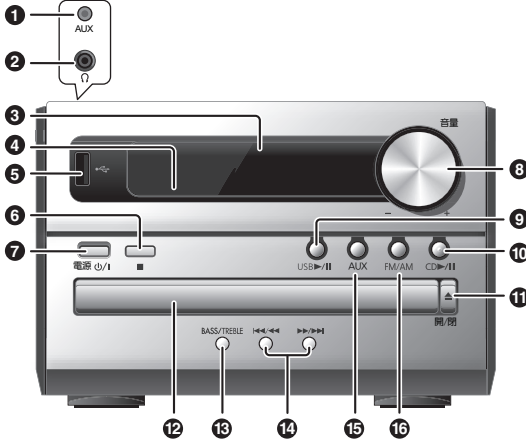
（急に暖かい室内に持ち込んだときなど）
乾いた柔らかい布でふいてください。

● CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：CD レンズクリーナー
（品番 RP-CL510）

各部のはたらき

本体

本体上面

	なまえやはたらき	参照ページ
❶	AUX 端子	3
❷	∩（ヘッドホン）端子	11
❸	表示部	—
❹	リモコン受信部 • 受信範囲　正面…7 m 以内 　　　　　　左右…各 30° 　距離と角度はおおよその数値です。	—
❺	USB 端子	—
❻	停止する	6, 7
❼	電源を入 / 切する	6
❽	音量を調節する • 0（最小）～ 50（最大）	—
❾	USB を再生 / 一時停止する	7
❿	CD を再生 / 一時停止する	6
⓫	CD トレイを開 / 閉する	6
⓬	CD トレイ部	—
⓭	バス / トレブルを選ぶ	11
⓮	スキップ / サーチする 周波数やプリセットチャンネルを選ぶ バス / トレブルを調整する	6, 8, 11
⓯	AUX に切り換える	9
⓰	FM/AM を切り換える	8

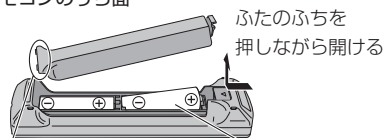
リモコン

● 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

	なまえやはたらき	参照ページ
①	電源を入 / 切する	6
②	表示部の明るさを変える • 押すたびに : 表示部（暗）⇆（明）	—
③	番号を選ぶ	6 ～ 8
④	プログラム曲を消去する	6
⑤	プログラムプレイを入 / 切する	6, 7
⑥	CD を再生 / 一時停止する	6
⑦	USB を再生 / 一時停止する	7
⑧	スキップ / サーチする 周波数やプリセットチャンネルを選ぶ バス / トレブルを調整する	6, 8, 11
⑨	リ．マスターを入 / 切する	11
⑩	EQ（イコライザー）を設定する	11
⑪	バスを選ぶ	11
⑫	アルバムやトラックを選ぶ	7
⑬	表示を切り換える	6, 7
⑭	ラジオの放送局を自動で 記憶する	8
⑮	チューニングモードを選ぶ	8
⑯	おめざめタイマーを入 / 切する	10
⑰	時計 / おめざめタイマーを 設定する	10
⑱	おやすみタイマーを設定する	10
⑲	オートオフ機能を入 / 切する	11
⑳	音量を調節する • 0（最小）～ 50（最大）	—
㉑	一時的に消音する • 解除するには、もう一度押す／ 音量を調節する／電源を切る	—
㉒	リピートプレイを入 / 切する	6
㉓	再生モードを選ぶ	6
㉔	AUX に切り換える	9
㉕	FM/AM を切り換える	8
㉖	停止する	6, 7
㉗	D.BASS を入 / 切する	11
㉘	トレブルを選ぶ	11
㉙	決定する	7, 10
㉚	サラウンドを入 / 切する	11
㉛	入力レベルを変更する	9
㉜	FM のステレオ / モノラルを 切り換える	9

リモコンの使いかた

■ 乾電池の入れかた

リモコンのうら面

- ⊕、⊖ を確認してください。
- 電池はマンガンまたはアルカリ乾電池をお使いください。

■ 使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意する。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

スピーカーについて

- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

お願い

- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも次のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）
  - 音がひずんだとき
  - 音質を調整するとき

CD を聴く

❶ ［電源］を押して電源を入れる
本体は［電源 ⏻/I］を押す

❷ 本体の［開 / 閉 ▲］を押して CD を入れる
CD トレイを閉めるにはもう一度押す

❸ ［CD ▶/❚❚］を押す（再生開始）

停止する	［■］（停止）を押す
一時停止する	［CD ▶/❚❚］を押す ■ 再開するには もう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に ［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押したままにする
好きな曲から聴く（ダイレクトプレイ）	数字ボタンを押す ■ 2 桁の数字を選ぶには ［≧ 10］を押してから 数字ボタンを押す
再生範囲を変える / 順不同で聴く（再生モード）	［再生モード］を押して 再生モードを選ぶ 1-TRACK 1TR：1 曲を再生 RANDOM RND：ランダムプレイ
再生残り時間を見る	再生中 / 一時停止中に ［表示切換］を押す 押すたびに： 再生経過時間 ⇄ 再生残り時間
くり返し聴く（リピートプレイは、他の再生方法と組み合わせることができます）	［リピート］を押して 「ON REPEAT」を選ぶ （“⟲”が表示されます。） ■ 解除するには ［リピート］を押す （「OFF REPEAT」が表示され、“⟲”が消えます。）

お知らせ

- すでに CD が入っている場合、電源切時に［CD ▶/❚❚］を押すと、電源が入り、CD 再生が始まります。（ワンタッチプレイ）
- ランダムプレイやプログラムプレイ（➔ 下記）の設定中 / 再生中は、ダイレクトプレイはできません。
- MP3 音楽（ファイルに「.mp3」や「.MP3」の拡張子があるもの）は再生できません。
- CD トレイを開けると、再生モードは解除されます。
- ランダムプレイ中は、一度再生した曲へスキップできません。
- ランダムプレイ中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

曲を選んで聴く（プログラムプレイ）

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。最大 24 曲までプログラムできます。

❶ 停止中に［プログラム］を押す
“PGM”が表示されます。

❷ 数字ボタンを押して曲を選ぶ
続けて選ぶときはこの操作をくり返す

❸ ［CD ▶/❚❚］を押す

停止する	再生中に ［■］（停止）を押す （プログラム内容は保持）
内容を確認する	プログラムプレイの停止中に ［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に 上記手順 ❷ を行う
通常の再生に戻す	プログラムプレイの停止中に ［プログラム］を押して “PGM”を消す （プログラム内容は保持） ■ プログラムプレイに戻るには 停止中に［プログラム］を 押して“PGM”を表示させる
最後の 1 曲を取り消す	プログラムプレイの停止中に ［消去］を押す
プログラムをすべて取り消す	プログラムプレイの停止中に ［■］（停止）を押す （「CLR ALL」が表示されます。） 5 秒以内にもう一度［■］（停止）を押す

お知らせ

- プログラムプレイの合計再生時間は表示されません。
- 電源を切ったり、セレクターを切り換えても プログラム内容は保持されます。
- CD トレイを開けると、プログラム内容は取り消されます。
- プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
- プログラムプレイ中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

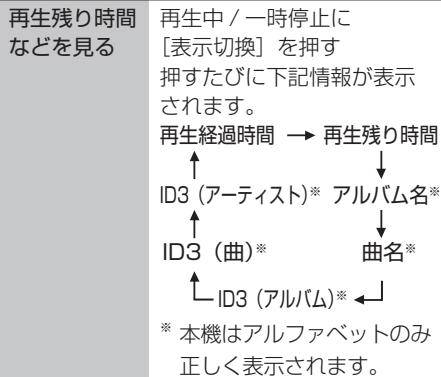
USB を聴く

USB デバイスなどを本機に接続して、MP3 音楽（ファイルに「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるもの）を再生することができます。

- USB 延長ケーブルは、本機では正しく動作しませんので、使用しないでください。
- iPod/iPhone には対応していません。
- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。

① 本機の音量を下げる
② USB デバイスを本機の USB 端子 (➔ 4 ページ) に接続する

[USB ▶/❚❚] を押す（再生開始）

一時停止する	[USB ▶/❚❚] を押す ■ 再開するには もう一度押す
停止する（「RESUME」が表示され、停止した位置が記憶されます）	[■]（停止）を押す ■ 再開するには [USB ▶/❚❚] を押す ■ 始めから再生するには もう一度 [■]（停止）を押してから [USB ▶/❚❚] を押す
アルバムを選ぶ（アルバムスキップ）	再生中に、[▲] や [▼] を押す 停止中に、[▲] や [▼] を 1 回押してから数字ボタンを押す
好きな曲から聴く（ダイレクトプレイ）	数字ボタンを押す ■ 2 桁の数字を選ぶには [≧ 10] を押してから数字ボタンを押す ■ 3 桁の数字を選ぶには [≧ 10] を 2 回押してから数字ボタンを押す
再生残り時間などを見る	再生中 / 一時停止に [表示切換] を押す 押すたびに下記情報が表示されます。 再生経過時間 → 再生残り時間 → アルバム名※ → 曲名※ → ID3（アルバム）※ → ID3（曲）※ → ID3（アーティスト）※ → 再生経過時間 ※ 本機はアルファベットのみ正しく表示されます。

- スキップ、ワンタッチプレイ、再生モード、リピートプレイの設定は CD と同様の操作でできます。(➔ 6 ページ)

曲を選んで聴く（プログラムプレイ）

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。最大 24 曲までプログラムできます。

1 停止中に
[プログラム] を押す
"PGM" が表示されます。

2 **[▲] や [▼] を押して アルバムを選ぶ**

3 **[▶▶/▶▶❙] を押してから 数字ボタンを押して曲を選び [決定] を押す**
続けて選ぶときは上記手順 ❷ と ❸ の操作をくり返す

4 **[USB ▶/❚❚] を押す**

停止する	再生中に [■]（停止）を 2 回押す (プログラム内容は保持)
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に 上記手順 ❷ と ❸ を行う

- その他のプログラムプレイの操作は CD と同様です。(➔ 6 ページ)

お知らせ

- プログラムプレイの合計再生時間は表示されません。
- 電源を切ったり、セレクターを切り換えても プログラム内容は保持されます。
- USB デバイスを取り外すと、プログラム内容は取り消されます。
- プログラム曲を選んで取り消すことはできません。

ラジオを聴く

周波数を合わせて聴く

❶ [FM/AM] を押して「FM」または「AM」を選ぶ

❷ [チューニングモード] を押して「MANUAL」を選ぶ

❸ [⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押して周波数を合わせる

■ **自動選局するには**
周波数が動き始めるまで [⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押したままにする
放送を受信すると止まります。
自動選局中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

■ **自動選局を止めるには**
もう一度 [⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押す

お知らせ

● 電源切時に [FM/AM] を押すと、電源が入り、ラジオを受信します。

放送局を記憶させて聴く

FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

「FM」または「AM」を選んでおく

自動で記憶させる

[オートプリセット] を押す

周波数が動いて、放送局を自動で記憶していきます。

■ **記憶させる開始周波数を変えるには**
[再生モード] を押す
CURRENT： 受信中の周波数から
LOWEST： 一番低い周波数から

手動で記憶させる

❶ [チューニングモード] を押して「MANUAL」を選ぶ

❷ [⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押して記憶させたい周波数に合わせる

❸ [プログラム] を押す
"PGM" が点滅します。

❹ 数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

■ 2 桁の数字を選ぶには
[≧ 10] を押してから数字ボタンを押す

■ 続けて記憶させるには
手順 ❷ ～ ❹ の操作をくり返す

お知らせ

● FM のモノラル受信（➡ 9 ページ）でも記憶させることができます。
● 選んだチャンネルに放送局が記憶されていた場合、新しい放送局が上書きされます。

記憶させた放送局を聴く

❶ [チューニングモード] を押して「PRESET」を選ぶ

❷ [⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押してチャンネルを選ぶ
数字ボタンでもチャンネルを選ぶことができます。

■ 2 桁の数字を選ぶには
[≧ 10] を押してから数字ボタンを押す

AM 放送で雑音が多いとき

BP（ビートプルーフ）機能を使ってください。

「BP1」や「BP2」が表示されるまで、[チューニングモード] を押したままにする

上記の操作をするたびに：

BP1 ⇄ BP2

● 雑音の少ないものを選んでください。

FM ステレオ放送で雑音が多いとき

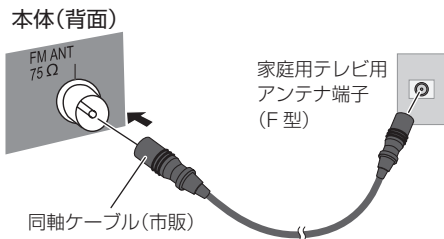
[FM 音声モード] を押して “MONO” を表示させる（モノラル受信）

周波数を変えると自動的にステレオ放送に戻ります。(通常はステレオ放送にすることをおすすめします。)

■ ステレオ放送に戻すには
[FM 音声モード] を押して “MONO” を消す

ラジオがうまく受信できないとき

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。

● **FM（テレビアンテナ端子の利用）**
付属の FM 簡易型アンテナを取り外し、下図のように接続してください。

上記アンテナ端子が地上デジタル放送専用の場合は効果がないことがあります。
上記の接続をしてもうまく受信できない場合、FM 専用アンテナ（市販）やブースター（増幅器、市販）の使用が必要になることがあります。くわしくは販売店にご相談ください。

外部機器の音声を聴く

① 外部機器の音質効果を無効にしておく
② 外部機器を接続しておく（➡ 3 ページ）
③ ポータブル機器の場合は、ポータブル機器側で音量を調節しておく
④ テレビ、有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく
⑤ 本機の電源を入れておく

❶ ［AUX］を押す

❷ 外部機器を再生する

■ **音量に過不足を感じるときは**
［入力レベル］を押す
HIGH： 音量が小さいとき
NORMAL： 音量が大きいとき

お知らせ

● 音がひずんだり、ノイズが発生するときは「NORMAL」に切り換えると改善する場合があります。

別売品のご紹介

オーディオコード
(ステレオミニプラグ～ステレオミニプラグ)
• RP-CAM3G15（1.5 m）
オーディオコード
(ステレオミニプラグ～ピンプラグ)
• RP-CAPM3G15（1.5 m）
● 2012 年 4 月現在の品番です。

タイマーを使う

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。

❶ ［時計 / タイマー］を押して「CLOCK」を選ぶ

押すたびに：

CLOCK → ⏲PLAY1 → ⏲PLAY2 → ⏲PLAY3 → (元の画面) → CLOCK

❷ 10 秒以内に、［▲］や［▼］を押して時計を合わせる

❸ ［決定］を押して時刻を決定する

■ **時計を確認するには**
［時計 / タイマー］を押す

お知らせ

● 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
● コンセントを抜いたり、停電したときは、時計を合わせ直してください。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

［スリープ］を数回押して時間を選ぶ

押すたびに：

30 MIN → 60 MIN → 90 MIN → 120 MIN → OFF → 30 MIN

“SLEEP”が表示されます。

■ **解除するには**
「OFF」を選ぶ

■ **残り時間を確かめるには**
［スリープ］を押す
数回押すと設定を変えることができます。

お知らせ

● おやすみタイマーは、おめざめタイマー（➔ 右記）と組み合わせて使えますが、おやすみタイマーが優先されます。

おめざめタイマーを使う

3 種類の設定（⏲PLAY1、⏲PLAY2、⏲PLAY3）をし、使い分けることができます。
音源が CD や USB のときは、再生モードやプログラムプレイの設定をしておくことが可能です。

① 時計を合わせておく（➔ 左記）
② 再生する音源（CD/ ラジオ /USB/ AUX）を準備し、音量を合わせておく

❶ ［時計 / タイマー］を数回押してタイマーを選ぶ
（⏲PLAY1、⏲PLAY2、⏲PLAY3）

❷ 10 秒以内に、［▲］や［▼］を押して開始時刻を設定する

❸ ［決定］を押す

❹ 手順 ❷ と ❸ をくり返して終了時刻を設定する

● 開始時刻から終了時刻までの時間が 1 分以上になるように設定してください。

❺ ［再生 ⏲］を押して動作させたいタイマーを選ぶ
（⏲PLAY1、⏲PLAY2、⏲PLAY3）

❻ 電源を切る

■ **タイマーを無効にするには**
［再生 ⏲］を 2 回押して“⏲”を消す

■ **タイマー設定の音源や音量を変えるには**
［再生 ⏲］を 2 回押してタイマーを無効にしてから音源と音量を変え、手順 ❺ と ❻ を行う

お知らせ

● 電源を切らないと、タイマーが動作しません。
● 設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は“⏲”が点滅します。）
● 終了時刻になると、電源が切れます。
● タイマーは無効にしない限り、設定した時刻に動作します。
● 音源に AUX を選んだ場合は、外部機器側も同じ時刻に動作するように設定してください。

音質・音場効果を楽しむ

好みの音質を楽しむ

[プリセット EQ] を数回押して好みの音質を選ぶ

HEAVY	ロックなど、パンチを効かせるとき
SOFT	BGM として聴くとき
CLEAR	ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
VOCAL	ボーカルにつやを出したいとき
FLAT	音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は「HEAVY」です。

低域 / 高域を調整する

1 [BASS] または [TREBLE] を押す

本体は [BASS/TREBLE] を押す

BASS	低域のレベルを調整するとき
TREBLE	高域のレベルを調整するとき

2 [|◀◀/◀◀] や [▶▶/▶▶|] を押してレベルを調整する

お知らせ

● 各レベルは－ 4 から＋ 4 まで調整できます。

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

[D.BASS] を押す

押すたびに：

ON D.BASS ⇄ OFF D.BASS

お知らせ

● 再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

サラウンド効果を楽しむ

[サラウンド] を押す

押すたびに：

ON SURROUND ⇄ OFF SURROUND

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときには「OFF SURROUND」を選ぶ

より自然な音で聴く

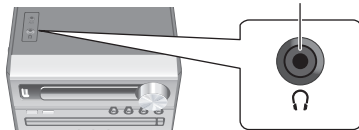
USB の再生時に、より自然な音質にする効果があります。

[リ. マスター] を押す

押すたびに：

ON RE-MASTER ⇄ OFF RE-MASTER

便利な機能

ヘッドホンで聴く

お願い

● ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ機能）

以下の状態で、ボタン操作のない状態が約 30 分続くと、自動的に電源が切れます。

- CD や USB の停止中 / 一時停止中
- AUX が無音に近い状態

[オートオフ] を数回押して "A.OFF" を表示させる

■ 解除するには

[オートオフ] を数回押して "A.OFF" を消す

お知らせ

● "A.OFF" を消して解除しない限り、電源を切ってもオートオフ機能が働きます。

保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

Ｑ＆Ａ（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）	ページ
テレビをつなぎたい	AUX 端子に接続すると、音声のみ本機でお楽しみいただけます。	3
有線放送をつなぎたい	AUX 端子に接続します。	3
iPod などをつなぎたい		
アナログレコードプレーヤーを接続したい	フォノイコライザー内蔵タイプのプレーヤーなら、AUX 端子に接続して使用可能です。（機器によってはコネクタ変換が必要）内蔵していないプレーヤーの場合は、外部にフォノイコライザー（他社品）を接続してAUX 端子に接続してください。	3
他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因となるほか、正しい特性の音が得られません。	—
長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
再生時の音質を変えたい	EQ（イコライザー）の設定を変えてみるのも一つの方法です。	11

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
ADJUST CLOCK	タイマーを動作させるには時刻設定が必要です。	時計を合わせてください。（➡ 10 ページ）
ADJUST TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。（➡ 10 ページ）
AUTO OFF	1 分以内に自動的に電源が切れます。（オートオフ機能（➡ 11 ページ））	解除するには、いずれかのボタンを押してください。
ERROR	誤った操作をしています。	取扱説明書を読み、操作をやり直してください。
F61	異常が発生しました。	一度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
F76		
NODEVICE	USB デバイスが接続されていません。	USB デバイスをきちんと接続してください。（➡ 7 ページ）
NO DISC	CD が入っていません。または、曲の入っていない CD-R などを入れました。	再生できる CD を入れてください。
NO PLAY	再生できない曲です。	（その曲をスキップして再生します。）
	再生できないディスクです。	再生できるディスク（➡ 3、6 ページ）に取り換えてください。
	再生できない USB のフォーマットです。	「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるものを再生してください。
PGM FULL	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	（これ以上のプログラムはできません。）
READING	情報を読み込んでいます。	「READING」消灯後に操作してください。
REMOTE 1	リモコンモードの設定が本機と合っていません。	リモコン側のリモコンモードを切り換えてください。（➡ 13 ページ）
REMOTE 2		

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
システム全体	電源が入っているのに何の操作も受け付けなくなった	次の操作をして、本機を購入時の設定に戻してください。 ① 一度、電源コードを抜き、3 分ほどそのままにしておく。 ② 本体の［電源 ⏻/I］を押しながら電源コードを接続する。 ③ 表示部に「ーーーーーーーー」が表示されるまで本体の［電源 ⏻/I］を押したままにする。	—
	電源が入っているのに音が出ない	スピーカーコードを正しく接続してください。	2
	再生中に「ブーン」という音がする	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。 電気器具を本機からできるだけ離してください。 電源コードを逆に差しかえてみてください。	—
CD	• CD を入れても、表示部が変わらない • 再生ボタンを押しても再生が始まらない	規格外の CD を使用していませんか。	3
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**	—
	特定の箇所が正常に再生しない	CD を柔らかい布でふいてください。	3
	CD トレイが正しく閉まらない	ディスクが正しい位置にあるかどうか、確認してください。	3
ラジオ	• FM 放送や AM 放送がうまく受信できない • 雑音、ひずみが多い	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続してください。	2
		アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。	—
		アンテナ線と電源コードをできるだけ離してください。	—
		送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。	9
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。 各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。	—
USB	再生ボタンを押しても再生が始まらない	本機では､「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるもののみ再生できます。 容量が 8 GB を超える USB デバイスの動作は保証していません。	7
	操作に時間がかかる	容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。	—
リモコン	リモコン操作ができない	乾電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。	5
		新しい乾電池と交換してください。	5
		本体側とリモコン側のリモコンモードを合わせてください。（➡下記）	—
	• 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する • 他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、リモコンモードを変更してください。 本体側の切り換え ① 本体の［AUX］を押したまま､リモコンの［2］（または［1］）を 2 秒以上押したままにする。（｢REMOTE 2｣（または「REMOTE 1」）が表示されます。） リモコン側の切り換え ② リモコンの［決定］と［2］（または［1］）を 2 秒以上押したままにする。	—

仕様

センターユニット部（SA-PM02）

アンプ部

実用最大出力 （両 CH 動作） （JEITA）	10 W (5 W + 5 W) 6 Ω、1 kHz、 全高調波ひずみ率 10 %
入出力端子	USB 端子：USB 2.0 full speed HP 端子：ステレオミニ (ø 3.5 mm) AUX 端子：ステレオミニ (ø 3.5 mm)

FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz （100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）
プリセットメモリー登録数	15 局

AM チューナー部

受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz （9 kHz ステップ）
プリセットメモリー登録数	15 局

CD 部

ディスク	8 cm/12 cm
サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	795 nm ※
レーザーパワー	CLASS 1
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
デジタルフィルター	8 fs
D/A コンバーター	MASH（1 ビット DAC）
CD-R、CD-RW	再生可

※ 本体のモデル品番表示の横に、「Ⓐ」と表記があるモデルは、波長が 790 nm になります。

USB 部（再生のみ）

USB インターフェース	USB 2.0 full speed （USB1.1 互換）
対応デバイス	マスストレージクラス
給電電流	最大 500 mA
ファイル フォーマット	FAT12/16/32
対応 USB メモリ容量	最大 8 GB
再生フォーマット	MP3（拡張子：「.mp3」または「.MP3」）
ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
最大フォルダ数 （アルバム数）	255
最大ファイル数 （曲数）	2500 （1 アルバムあたり 999）

本体総合

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	12 W
寸法 （幅×高さ×奥行）	184 mm × 123 mm × 228 mm
質量	約 1.1 kg
許容周囲温度	0 ℃～+ 40 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH （結露なきこと）

電源切（スタンバイ）時の消費電力：約 0.2 W

スピーカー部（SB-PM02）

形式	1 ウェイ 1 スピーカー システム（バスレフ型） フルレンジ：10 cm コーンタイプ
インピーダンス	6 Ω
許容入力（IEC）	5 W（Max）
出力音圧レベル	83 dB/W（1 m）
再生周波数帯域	61 Hz ～ 17 kHz（–16 dB） 95 Hz ～ 15 kHz（–10 dB）
寸法 （幅×高さ×奥行）	139 mm × 224 mm × 136 mm
質量	約 1.3 kg

注）1.この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　　2.全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

● 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

注意

CD トレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 背面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話（　　　）　　－

お買い上げ日　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」「故障かな !?」（12 ～ 13 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

- **製品名**　CD ステレオシステム
- **品　番**　SC-PM02
- **故障の状況**　できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8 年
当社は、この CD ステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください**

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- **使いかた・お手入れなどのご相談は…**

パナソニック お客様ご相談センター

電 話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- **修理に関するご相談は…………………**

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地域	電話番号	所在地
北海道地区		
札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
東北地区		
青森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区		
栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区		
滋賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区		
沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0112

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター
電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は…………………

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

会員サイト「CLUB Panasonic」で「**ご愛用者登録**」をしてください
PC http://club.panasonic.jp/ 携帯
※ このサービスはWEB限定のサービスです。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のCDステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQTX1187-1S
M0710KZ1052